鹿児島県硫黄島と竹島の魚類多様性調査

本村　浩之

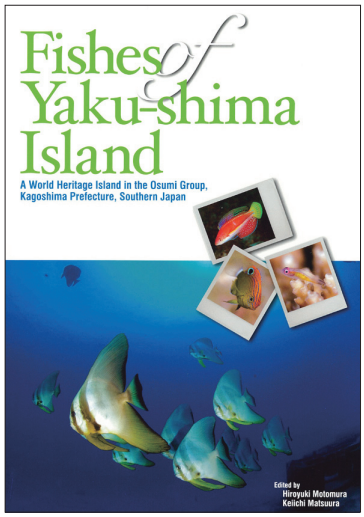

図１．屋久島調査の成果
『Fishes of Yaku-shima Island』

鹿児島大学総合研究博物館では、鹿児島県魚類多様性調査プロジェクトの一環として毎年各島嶼海域の魚類相調査を行っています。一昨年は屋久島の調査を行い（本村、2009）、同島から標本に基づく初記録374種を含む951種を報告しました（Motomura and Matsuura, 2010；図１）。さらに、この調査によって屋久島と鹿児島県本土の魚類相は大きく異なることが明らかになりました。鹿児島県北部海域（トカラ列島以北）の魚類多様性を今後より深く理解するためには、地理的に屋久島と県本土の中間に位置する三島村の魚類相を把握する必要があることが分かってきたのです。

屋久島の魚類調査は明治時代から現在まで盛んに行われてきましたが、三島村周辺海域の調査はこれまで実施された記録がありません。そこで、2010年度に鹿児島大学総合研究博物館が行った同海域における史上初の魚類多様性に関する調査状況を紹介します。

本稿で紹介する「硫黄島・竹島魚類多様性調査プロジェクト」は、鹿児島大学総合研究博物館が主導する「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」と国立科学博物館の「黒潮プロジェクト（浅海性生物の時空間分布と巨大海流の関係を探る）」の一環として行われました。調査期間は、2010年５月から11月までの計６回（５月24～30日、６月19～20日、７月24～25日、８月13～14日、９月18～20日、11月６～７日）、調査地は鹿児島県三島村の硫黄島（図２）と竹島の周辺海域です。三島村じゃんベスクール（図３・４）や硫黄島・竹島の民宿を拠点とし、日中はスクーバダイビングによる調査（表紙写真・図５）、夕方は標本処理（図６）、夜は釣り調査を行いました。硫黄島の港内の海底からは鉄分を大量に含んだ水が湧出しているため、海が赤茶色に染

図２．常時噴煙をあげる硫黄島

図３．硫黄島調査隊のメンバー

図４．午前と午後の調査の合間のひと時

図５．ハナダイ類が乱舞する硫黄島の海底
（出羽慎一氏撮影）

まっており、沿岸からの調査ができません（図７・８）。そこで、調査は基本的にチャーター船によって透明度が高い沖合で行いました（図９）。

現在、採集された標本と水中撮影された画像の同定・登録を行っており、まだ出現種（科・属）数の集計はでていませんが、いくつか興味深い種も発見されました。イトヒキコハクナハダイ *Pseudanthias rubrolineatus*（図10）やヒマワリスズメダイ *Chromis analis*（図11）は、今回の調査で得られた標本に基づいて新しい標準和名が提唱さました（Motomura et al., 2010；岩坪・本村, 2010）。今後、同定作業が進むにつれ、さらに多くの未記載種や日本未記録種の存在が明らかになってくると期待されます。来年度初旬には硫黄島・竹島の魚類図鑑（フィールドガイド）を出版する計画をしています。最後に、調査にご協力下さった出羽慎一氏、古田和彦氏、および三島村のみなさまに感謝します。

図６．標本処理作業でしばしば徹夜も…

図７．硫黄島の漁港内から流出する鉄分を含んだ赤褐色の海水

図８．鉄分を含んだ赤褐色の海水と透明度が高い外洋水の境界

図９．チャーター船による調査

図11．硫黄島から採集されたヒマワリスズメダイ *Chromis analis*（KAUM-Ⅰ．29566, 標準体長95.9 ㎜）.

引用文献

岩坪洸樹・本村浩之．2010．スズメダイ科魚類*Chromis analis*ヒマワリスズメダイ（新称）と*C. albicauda*コガネスズメダイの日本における記録と標準和名．生物地理学会会報，65：57-64.

本村浩之．2009．屋久島の魚類相調査．鹿児島大学総合研究博物館ニューズレター，(21)：10-11.

Motomura, H., S. Dewa, K. Furuta and H. Senou. 2010. Description of *Pseudanthias rubrolineatus* (Serranidae: Anthiinae) collected from Take-shima Island, Kagoshima Prefecture, southern Japan. Biogeography, 12: 119-125.

Motomura, H. and K. Matsuura (eds.). 2010. Fishes of Yaku-shima Island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan. National Museum of Nature and Science, Tokyo. viii + 264 pp., 704 figs.

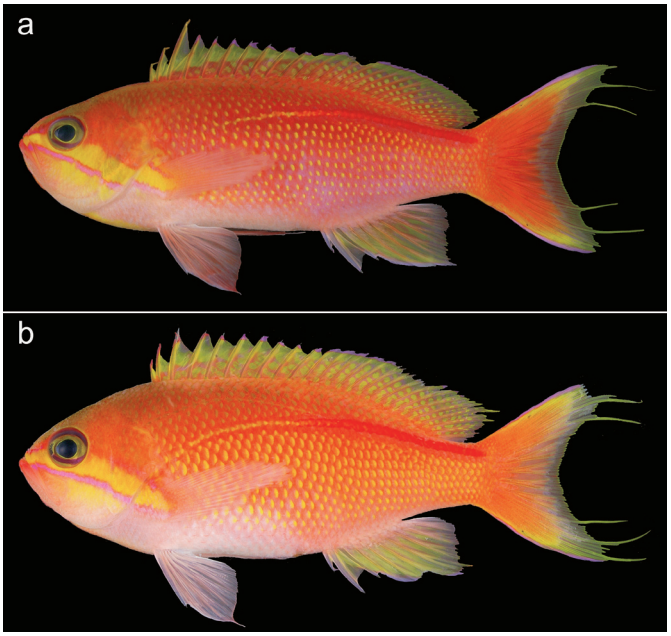

図10．竹島から採集されたイトヒキコハクナハダイ *Pseudanthias rubrolineatus*.
a．KAUM-Ⅰ．29771，オス，標準体長92.2 ㎜；
b．KAUM-Ⅰ．29772，メス，標準体長74.1 ㎜.